

がんばるモン熊本・大分
平成28年度 全九州高等学校体育大会
第66回 全九州高等学校柔道競技大会

実 施 要 項



2016

主 催	九州高等学校体育連盟 沖縄県教育委員会
後 援	公益財団法人沖縄県体育協会 九州柔道協会 那 覇 市 那 覇 市 教 育 委 員 会 西 日 本 新 聞 社
主 管	沖縄県高等学校体育連盟 沖縄県柔道連盟

1 期日・会場

(1) 開会式

日時 平成28年6月18日(土) 9:30 開式
会場 沖縄県立武道館 メインアリーナ
〒900-0026 沖縄県那覇市奥武山52
TEL: 098-858-2700 FAX: 098-859-0102

(2) 競技日程

日時 平成28年6月18日(土) 開会式終了後 男・女団体試合
平成28年6月19日(日) 9:30~ 男・女個人試合

(3) 閉会式

日時 平成28年6月19日(日) 試合終了後(16:00閉式)
会場 沖縄県立武道館 アリーナ

(4) 諸会議

会議名	日時	会場
① 審判会議	平成28年6月17日(金) 16:00~	県立武道館 1階錬成道場
② 監督会議	平成28年6月17日(金) 17:00~	
③ 専門委員長会議	平成28年6月17日(金) 17:30~	

2 競技規則・方法

(1) 競技規定

- ① 試合は国際柔道連盟試合審判規定(新ルール)による。
- ② 九州高体連柔道専門部申し合わせ・確認事項

ア 団体試合

- (ア) 試合時間は4分間とする。
ゴールデンスコアは時間無制限とする。
- (イ) 優勢勝ちの判定基準は、「有効」以上とする。技による評価が同等の場合は、「僅差」で判定する。但し、僅差は「指導差が2」以上とする。対戦内容が同等の場合は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して代表戦を行う。代表戦の実施方法、判定基準は個人試合に準ずる。
- (ウ) リーグ戦においてはリーグ戦終了後、その内容が同率・同点の場合のみ対象チームから任意に選出して代表戦を行う。

イ 個人試合

- (ア) 試合時間は4分間とする。
- (イ) 優勢勝ちの判定基準は、「有効」以上とする。技による評価が同等の場合は、指導が少ない方を勝ちとする。得点差がない場合は、ゴールデンスコアにより勝敗を決する。

ウ 「技の内容」と「指導(僅差)」の重み

一本勝ち=反則勝ち>技有り>有効>指導(僅差)の順とする。

(2) 競技方法

① 団体試合

(リーグ戦)

ア 参加チームを4パートに分け予選リーグを行い、各パートの1位チーム(4校)によるトーナメント戦を行う。

イ リーグ戦におけるチーム対チームの勝敗は次による。

(ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(イ) (ア)で同等の場合は、「一本」「反則勝」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(ウ) (イ)で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(エ) (ウ)で同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(オ) (エ)で同等の場合は、引き分けとする。

ウ リーグ戦における順位は、3勝・2勝1分・2勝1敗・1勝2分・1勝1敗1分・1勝2敗・3分・1敗2分・2敗1分・3敗の順とする。

エ ウで同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。

オ エで勝ち数の同じ場合は、「一本」「反則勝ち」による勝ち数の多いチームを上位とする。

カ オで同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。

キ カで同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを上位とする。

ク キで同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。

ケ クで同等の場合は、「一本」「反則勝ち」による負け数の少ないチームを上位とする。

コ ケで同等の場合は、「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。

サ コで同等の場合は、「有効」による負け数の少ないチームを上位とする。

シ サで同等の場合は、代表戦を行う。(5位決定については、直接の対戦で勝ったチームを5位とする。引き分けの場合は、代表戦は行わず同順位とする)

(トーナメント戦)

トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ (ア)で同等の場合は、「一本」「反則勝ち」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

ウ (イ)で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ (ウ)で同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

オ (エ)で同等の場合は、代表戦を行う。

② 個人試合

ア 個人試合は体重別試合とする。

イ 試合はトーナメント方式とし、必ず優劣をつける。

③ 体重区分

[男子] 60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級の7階級とする。

[女子] 48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級の7階級とする。

[公式計量]: 6月18日(土)団体試合終了から1時間の間に1回のみの計量とする。

[非公式計量]: 6月18日(土)開会式から団体試合終了までとする。

3 引率・監督について

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。

(2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

- (3) 但し、各県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準により限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。
- (4) 監督の役割は、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。
- (5) 監督の行為・言動について
 - ①試合が止まっている間（「待て」から「始め」）のみ、選手に対し指示を与えることができる。
 - ②次の行為を禁止する。
 - ア 試合が進行している最中に指示を出すことや試合中に立ち上がること。
 - イ 対戦相手や自身の選手を侮辱する言動。
- (6) 罰則規定
 - ①1回目は審判員が合意の上、口頭による「警告」を与える。
 - ②2回目は審判員が合意をし、大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとに試合が終わるまで監督席から退場させる。

※次の試合（対戦校）からは、監督席に座ることができるが、その後も改善されない場合は、大会期間中をとおして、監督席への着席を認めない。

4 参加資格

- (1) 参加者は各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本競技実施要項により九州大会の参加資格を得た者に限る。（1位から順次出場させること。）
- (2) 平成28年度各県柔道連盟（協会）を経て、（公財）全日本柔道連盟に登録をした者。
- (3) 平成9（1997）年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場回数は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。（出場とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認すること）
- (4) チーム編成においては、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準じる。）但し、一家転住等やむを得ない場合は、所属高体連会長の許可があれば、この限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高校連会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例による学校の参加については、全九州高等学校体育大会開催基準要項の通りとする。
- (9) 脳震盪について、選手および指導者は下記の事項を遵守すること。
 - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
 - ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - エ 当該選手の指導者は、大会事務局および（公財）全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

5 参加制限

- (1) 団体試合 各県 男子・女子 各2チーム

	監督	選手	補欠	計
男子	1	5	2	8
女子	1	3	1	5

- (2) 個人試合 各県 男子・女子 各階級 2名
 (3) 外国人留学生の参加については、団体男女とも 1校 1名以内は認める。

6 参加申し込み

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

- (1) 申込締切日 平成28年6月8日(水曜日) 必着のこと。
 (2) 申込先 〒901-0155
 沖縄県那覇市金城3丁目5番地の1 沖縄県立那覇西高等学校
 沖縄県高等学校体育連盟 柔道競技専門部 宮城 傑 宛
 Tel 098-858-8274 Fax 098-858-2938
 (3) 申込方法 所定の参加申込書により3部作成し、各県高体連柔道専門部で集約する。
 1部は所属高体連の控えとし、2部を申込先へ送付する。
 ※各県、男・女団体は1位・2位の順位を必ず決めておくこと。

7 参加負担金

- (1) 団体 1チーム 18,000円
 個人 1人 1,800円
 (2) 各県高等学校体育連盟(柔道専門部)は、各県でまとめて大会参加申込と同時に、参加負担金を下記の口座に振り込むこと。

振込先	琉球銀行 泡瀬支店(店番号 517)
口座番号	普通預金 315562
口座名義	沖縄県高体連柔道専門部専門委員長 宮城 傑

- 8 組合せ 組合せ抽選会は、沖縄県高等学校体育連盟で行う。
 (原則として、開催県高等学校体育連盟理事長が同席する。九州専門委員長および隣県専門委員長の同席も可とする。)

期日：平成28年6月9日(木) 14時～ 場所：沖縄県立那覇西高等学校体育演習室

- 9 順位決定基準 団体試合においては、2-(2)-①により予選リーグの順位を決定し、1位チームによる決勝トーナメントを行い、1位～3位(2チーム)を決定する。なお、予選リーグ各パート2位チームを5位とする。5位決定については、チームの勝敗分数が同等の場合は、直接の対戦で勝ったチームを5位とする。引き分けの場合は、2-(2)-①によって順位を決定するが、2-(2)-①-シ(代表戦)は行わず同順位とする。

- 10 表彰 団体・個人ともに3位までを表彰する。

11 宿 泊

- (1) 参加者の宿泊は、大会事務局の指定宿舎とする。宿舎の割り当ては大会事務局で行い、各学校に通知する。
- (2) 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、3部作成する。1部は当該県高体連控えとし、2部を各県高体連柔道専門部が取りまとめ、参加申込書に同封し送付すること。宿泊予納金は徴収しない。
- (3) 宿泊費は、1人当たり1泊2食8,000円(税・サービス料込)を上限とし、弁当代は600円(税込)を上限とする。
- (4) 宿舎・弁当申込の取り消し及び変更について
 - ① 宿舎決定後の変更(取消や人数の変更)については、当該校引率責任者が直接、宿泊先へ連絡を取り相互で確認すること。
 - ② 弁当については、当該校引率責任者が前日18時までに宿泊先へ連絡すること。

12 参加上の注意

- (1) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
- (2) 参加選手は、必ず健康保険証を持参すること。
- (3) 申込後、参加選手に変更が生じた時には、所定の選手変更届を6月17日(金)の15時までに、大会本部に届けること。

【注意事項】

- ① 変更人数は各チーム1名とする。
- ② 選手変更をされた選手は、個人戦を含んだ一連の試合に参加できない。
- ③ 補欠に補充された選手は、チームの2試合目より試合者を変更できる。
- (4) 団体試合のチームのオーダーは、段位によらず自由とする。
- (5) 試合毎のオーダーの変更は認めない。
- (6) 補欠のオーダー変更は、変更する選手の位置に入れ、一度退いた選手は再度出場することはできない。
- (7) 参加資格に疑義のないように特に注意すること。
- (8) 細部については、審判会議において決定する。
- (9) 監督の服装については、審判員に準ずる服装であること。
- (10) 必ず柔道着にゼッケンを強い糸で縫い付けること。(縦横並びに対角線)
- (11) 練習会場・時間は下記の通り。施設についてはマナーを守り利用すること。破損や汚した場合は、関係者に原状回復する責任を負う。

練習日時・会場	沖縄県立武道館アリーナ	沖縄県立武道館3階錬成道場
6月17日(金)	13:00~17:00	12:00~17:00
6月18日(土)	8:10~9:15	8:10~17:00
6月19日(日)	8:10~9:15	8:10~15:00

12 連絡事項 ※ 組合せの推薦基準について

- (1) 組合せ表(1)(3)(5)(7)(9)(11)(13)(15)の奇数に各県優勝校を抽選により入れる。
- (2) 各県2位を偶数の位置に抽選により入れる。但し、この場合同県で組む場合があるので、Aパートに1位が入っていれば、2位校はBパートにて抽選する。個人も同様に抽選する。